学校番号	1004

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	私達が立っている場所	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	独自教材を作成						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

年間 2 回のグループ発表や選び抜かれた重要な教材を学習することを通して、現代生活に生きることばの学習を重ねます。文章の読み取り、読み取ったことの相互理解、話し合いを通じて伝え合う力も育成します。また、指導者の助言や学習者相互の意見交換、相互評価を通じて学びあう「場」の成立を目指します。
ことばの学習が、現代生活に生きる私達の生きる力につながるような視点を常に保持し、学習をすすめます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
教材を的確に読み取り、それを表現する力を育成する。
【思考力、判断力、表現力等】
読み取ったものを自分自身の課題としてとらえ、それを共有する力を身につけさせる。
【学びに向かう力、人間性等】
共同で学びあうことを通して、課題を自ら発見させる力を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	読み取りに必要な知識や技能を身に付けようとしている。	論理的、批判的に文章を読み取るとともに、自身の経験や生活に照らして教材を生かそうとしている。また、その考えを工夫して表現しようとしている。	共同で読み取る学習を進めるにあたって、自身の読み取りや考えを積極的に共有し、他人の意見を自身の意見に反映させる態度を持とうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	「仕組みのなかをことばで生きる」 ［教材］ 「である」ことと「する」こと	a:「である」と「する」という教材のことばを、自身の生活のことばと重ねて理解する。 b[　書　]:理解したことがらをしっかり伝えるためにわかりやすく表現する。 c:読み合わせなど、共同で理解する態度を持って教材や学習活動に向き合っている。	発表資料 定期考査	グループ発表 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	生活に生きる「正義」 ［教材］ マイケルサンデル東大講義	a:講義を聞いて、サンデル教授の考えや発言者の考えを理解することができる。 b[　書　]:学習した哲学的な事項を活用して自身の考えを鍛えることができる。 c:講義で得た知識を活用して現代生活の課題に向き合うことができる。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	自身の根拠を探る ［教材］ 文学のふるさと	a:「ふるさと」「大人の仕事」など、教材のことばを適切に理解することができる b[　読　]:読み取ったものを自身の生活の問題としてとらえることができる c:学習を積極的に経験に照らし合わせている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	高度消費社会の解読 ［教材］ 安楽への全体主義	a:「能動的ニヒリズム」「喜びという感情の消滅」など、教材の語の意味をとらえることができる。 b[　聞　]:学習事項をもとにして共有し、現代社会を解読する要素にできる。 c:積極的に学びを深め、共有できる。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート
	理解の構造を把握する ［教材］ 歴史としての科学	a:時代と思考について、当時の支配的な考えに着目して考える教材の読み取りができる b[　書　]:「知的冒険」「対自化」という語を適切に解説できる。 c:自身の時代の思考を相対化して考えることができる。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート
	教材から現代の思考へ ［教材］ 「私達」総集編講義	a:「私達」総集編講義を語彙に着目して理解することができる。 b[　書　]:理解した事柄をもとにして、これまでの学習を構成できる。 c:これまでの教材の関連を表現することができる。	ワークシート	講義聞き取りノート	振り返りシート
	私達はどう生きるか ［教材］ 君たちはどう生きるか	a:テキストから、コペル君やおじさんの考えを適切に読み取ることができる。 b[　読　]:語彙に着目して、自身の経験とテキストを繋げることができる。 c:積極的に読書を進めることができる。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	「私達」最終スピーチ ［教材］	a:「君たちはどう生きるか」と関連させてスピーチをすることができる b[　話　]:1 年間の学びをスピーチに重ねることができる。 c:積極的に自身の問題としてスピーチを聞くことができる。	スピーチ原稿	スピーチ原稿	スピーチ聞き取りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　10　）時間
・書くこと　…　（　15　）時間
・読むこと　…　（　40　）時間